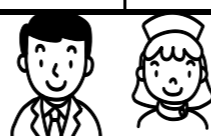


右・左 人工股関節全置換術を受けられる患者さんへ

様

	手術当日								
	入院当日	術前	術後	術後1日	術後2日	術後3～7日目	術後8～14日	術後15～21日	術後22～退院
	月 日()	月 日()		月 日()	月 日()	月 日()～月 日()	月 日()～月 日()	月 日()～月 日()	月 日()～月 日()
目標	手術の準備が安全に行われる。		循環動態が安定している。 痛みのコントロールができる。	痛みのコントロールができる。 脱臼について理解できる。	車椅子に移動できる。 リハビリの必要性がわかる。 脱臼について理解できる。	リハビリに応じて生活動作を向上することができる。 脱臼に注意しながら日常生活が送られる。	退院の準備ができる。 退院後の生活の注意点について理解できる。		
処置・検査・観察	入院時に検温を行います。 弾性ストッキングのサイズを測定します。	手術前に検温を行います。 手術前に手術をしない足に弾性ストッキングを履きます。 義歯、時計、ヘアピン等の装飾品は外してください。	必要に応じて検温を行います。 胸に心電図のモニターをつけます。 酸素のマスクをつけます。 両足に弾性ストッキングとフットポンプをつけます。 患部を冷やします。	必要に応じて検温を行います。 状態が安定していれば心電図モニターを外します。 朝に採血があります。 患部を冷やします。	必要に応じて検温を行います。 傷口のガーゼを交換します。 患部を冷やします。	毎日、検温を行います。 月・木曜に医師が傷を確認し必要に応じてガーゼを交換します。 術後10日目を目安に抜鉤を行います。 医師の指示により、採血・レントゲンがあります。 患部に熱感があれば冷やします。	毎日、検温を行います。 医師の指示により、採血・レントゲンがあります。 患部に熱感があれば冷やします。		
内服	普段通りです。	中止薬() 中止薬以外の薬は朝()時まで に内服してください。	食事が再開になれば薬も再開します。 中止薬は、指示があるまで中止です。 術後、状態が安定するまで看護師が薬を配ります。	痛み止めの薬が出ます。	ベッドから起きられるようになれば、薬は自分で管理します。				
点滴		朝、医師が点滴の針を挿入します。 その後、点滴を行います。 点滴は、指示があるまで続きます。	点滴が翌日まで続きます。 抗生剤の点滴を行います。 術後、医師の指示により痛み止めの薬を使用します。	抗生剤の点滴を行います。					
安静度	普段通りです。	普段通りです。	ベッドの上で安静になります。 寝返りや起き上がりはできませんが、看護師と一緒にします。	身体状況に応じて理学療法士と車椅子に移動する練習を行います。	理学療法士と車椅子に移動する練習を行います。	リハビリに応じて、段階的に移動手段を変更していきます。指示が出ますので指示に沿う様にしてください。 車椅子→歩行器→杖歩行			
リハビリ				リハビリが始まります。	リハビリがあります。 (リハビリは日、祝日は休みです)	リハビリがあります。 (リハビリは土日、祝日は休みです)			リハビリがあります。 (リハビリは土日、祝日は休みです) 作業療法士が脱臼予防の生活動作の指導を行います。
栄養(食事)	普段通りです。 ()時以降絶食です。	絶食です。 飲水は()時まで可能です。	指示により飲水、食事を始めます。	普段どおりです。					
清潔	普段通りです。			体を拭き着替えをします。 お下を洗います。	お下を洗います。	術後4日目以降から週に2回、看護師と共にシャワーをします。	一人できるようになれば、シャワーは自立になります。		
排泄	普段通りです。		手術室で膀胱に尿を出す管が入ります。 便はベッドの上で便器もしくはオムツを使用します。		車椅子で看護師と共にトイレへ行きます。 トイレへ行けるようになれば、尿の管を抜きます。				
指導説明	主治医から手術の説明があります。 麻酔科医師から麻酔の説明があります。(手術当日になる場合もあります) 手術室看護師から説明があります。	手術の予定時間は(:)頃です。 時間変更がある場合はお知らせします。	痛みがある時や気分が悪いなど何かあればお知らせください。		日常生活の指導を行います。				

☆なお、状態に応じて予定が変更になる場合があります。
ご不明な点がございましたら、お尋ねください。



医師()
理学療法士()

看護師()
作業療法士()

薬剤師()
北播磨総合医療センター 整形外科

